

「保守」対「リベラル」昔の話

米国民の意識 いまや11分類

な差はほとんどないとい
る。

また民主党支持者の中核だっ
たニューデイル派は今や若い

【ワシントン三十日共同】

米国民が「保守か」「リベラル
か」という伝統的分類はほとん
ど意味を持たなくなっており、

価値観や個人的性向に基づき今
や十一のグループに分けられる

トギヤラップ社実施の世論調査

は三十日、このような新説を打
ち出した。

それによると、共和党の固い

支持者は、政府による統制を嫌

う「実業派」(二〇%)と人工

中絶などに反対する「倫理派」

(一一%)に大別される。民主

党支持者は平和、公民権運動に

参加した「一九六〇年代派」

(八%)、肉体労働者を中心と

する「ニューデイル派」(一

一%)、南部を中心とする貧者

の「消極的支持派」(七%)、

都市黒人らによる「積極支持

派」(九%)の四グループに分

かれてはいる。

中立層の米国民は、将来に希

望を持つ「楽観派」(九%)、

その逆の「不満派」(九%)、

投票棄権の多い「傍観派」(一

一%)、政治に関心の薄い「追

従派」(七%)、宗教心に欠け

る「世俗派」(八%)に大別さ

れている。

四%、共和党四六%だが、共和

党支持者の方が党への忠誠心が

厚いことを考慮すると、実質的

な差はほとんどないとい

る。

また民主党支持者の中核だっ

たニューデイル派は今や若い

支持を取り付けられていないと

①実業②倫理③共和系④一九六〇年代⑤ニューデイル⑥積極

支持⑦民主系⑧楽観⑨不満⑩傍観⑪追従⑫世俗⑬中立系